

名古屋市が「木曾川水系連絡導水路建設事業から撤退する」旨の報道について

2009年5月15日

「長良川に徳山ダムの水はいらない」市民学習会実行委員会

代表 粕谷 志郎

「木曾川水系連絡導水路建設事業から撤退する」旨の、河村たかし名古屋市長の勇気ある決断を高く評価し、歓迎する。

木曾川水系連絡導水路の建設の「理由」「必要性」は、これまで、関係諸機関から、理解できる形では明らかにされていない。

「徳山ダムができちゃったから」(愛知県土地・水資源課)というのが、一番説得力ある「理由」であった。無駄なダムに無駄な導水路を重ねるだけである。

昨今の経済・財政状況に照らして、大きな額の公金を、このような無意味な事業に投入することは許されない。国は、名古屋市長の判断を重く受けとめ、木曾川水系連絡導水路建設事業の中止に向けた検討に踏み出すべきである。

「下流施設」を位置づけている木曾川水系連絡導水路計画は、長良川河口堰中流部取水に道を開くものである。長良川河口堰中流部取水は、長良川河口堰の恒久化であり、長良川を死に追いやるものであり、認容できない。

長良川を清流の名にふさわしいものとして取り戻すべく、私たちはさらに学習と行動を重ねていく所存である。